

2020.4

科目名	裁断 基礎実習C						
対象学科	高等師範科	時間数	350	学年学期	5	必修・選択	必修
担当教員名	片桐由希菜・木股忍		実務経験の有無	有	授業形態	実習	
授業内容	裁断 基礎実習Bで学んだことをより早く正確にできるよう実習を重ねる。衿着物、羽織、コート、特殊物の裁断、ヘラ付けを学ぶ。						
到達目標	基本の形はしっかり覚え、1人で判断できる力を身に付ける。将来、仕事をしていく上で、効率よく裁断ができるように無駄のない動き、素早い判断ができるようにする。						
授業計画 (内容)	【4月～8月】浴衣、長襦袢、単衣着物、衿着物、羽織、コート等多くの種類の反物を指示通りに正確に早く裁断できるよう実習を重ねていく。 【9月～12月】衿着物、羽織、コートを中心に更に理解を深め、ミスの無い正確な裁断実習をおこなっていく。 【1月～3月】職業として通用するよう指示内容の読み取り、問題点の解決方法等、自分の力でできるよう意識して実習を進めていく。						
成績評価方法	学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする						
備考							

2020.4

科目名	裁断 基礎実習B						
対象学科	高等師範科	時間数	210	学年学期	4	必修・選択	必修
担当教員名	片桐由希菜・木股忍		実務経験の有無		有	授業形態	実習
授業内容	浴衣、長襦袢、単衣着物の裁断の復習。袷着物の柄合わせの仕方、羽織、コートの裁断及びヘラ付けを学ぶ。						
到達目標	基本の裁ち方をしっかり身に付け、さらに柄出しや寸法の取り方等、自分で考え判断できるようにする。指示通りできない場合等の対処法等も学び、自分で解決できる力を身に付ける。着物類が覚えられたら、羽織、コートの裁断も覚えていく。						
授業計画 (内容)	【4月～8月】浴衣、長襦袢、単衣着物を数多く裁断し、基本動作を身に付けるとともに、柄出しや特別な指示に対応できるように実習を重ねていく。 【9月～12月】袷着物を中心に裁ち方の習得をし、基本的な柄合わせの仕方等を学ぶ。工程が多い分、時間内に効率よく作業できるよう実習を重ねていく。羽織、コートの裁断も学んでいく。 【1月～3月】袷着物、羽織、コートの裁断の理解度の更なる向上と、裁断の正確さ、スピードを意識し、実習をしていく。						
成績評価方法	学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする						
備考							

2020.4

科目名	和裁Ⅳ応用実習D						
対象学科	高等師範科	時間数	567	学年学期	4	必修・選択	必修
担当教員名	大濱光美・秋山杏子・鈴木志保		実務経験の有無	有	授業形態	実習	
授業内容	今まで習った着物の仕立てについて、その技術を今後職業として通用するレベルまで引き上げるための実習を重ねていく。また後半は、道行コートや変わり衿コート等も学び、その縫い方を覚え、1人で完成できるようにしていく。						
到達目標	着物を1人で仕上げられ、扱いの難しい生地にも対応し、職業として通用する常に安定した技術習得を目指し、さらに着物用のコートも1人で仕上げられるようにしていく。						
授業計画 (内容)	<p>【4月～8月】単衣着物等を中心に、縫う正確さや速さをさらに磨くための実習を重ねていく。</p> <p>【9月～12月】袷着物等を中心に、縫う正確さや速さをさらに磨くための実習を重ねていく。また、道行コートや変わり衿コートの理解度の向上をはかっていく。</p> <p>【1月～3月】袷着物の仕立てに関し、職業として成り立つ正確さ、速さへの到達を目指すことと、道行コートや変わり衿コートの縫製について他とは違う点を確認しながら、実習をしていく。着用者にとって、より良い寸法の取り方、難しい生地の扱い等、自分で判断できるよう意識して実習をしていく。</p>						
成績評価方法	学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする						
備考							

2020.4

科目名	和裁Ⅱ基礎実習D						
対象学科	高等師範科	時間数	1095	学年学期	2	必修・選択	必修
担当教員名	大濱光美・秋山杏子・鈴木志保		実務経験の有無	有	授業形態	実習	
授業内容	長襦袢、浴衣の仕立ての復習と発展、単衣着物、袷着物の素縫いとまとめ、単衣羽織、袷羽織の仕立て方の習得。						
到達目標	長襦袢、浴衣の仕立ては完成度の向上、時間短縮を、子供物、二部式等少し違う形のもの仕立てはその習得を目指す。単衣、袷着物の素縫いでは生地 の性質に注意しながら安定した仕上がりを目指す。素縫いの完成度、目標時間をクリアしたらまとめ工程に入り、袷着物を1人で完成できるようにする。袷着物の仕立て方が覚えられ、仕上がり が安定してきたら、単衣羽織、袷羽織の仕立て方を習得する。						
授業計画 (内容)	【4月～8月】8月までに浴衣の試験を数回行い、仕上りの向上と時間短縮を目指す。長襦袢は仕上がり向上、時間短縮を目指し応用を学ぶ。単衣着物の仕立てを覚え生地 の性質を理解し完成度を上げる。 【9月～12月】長襦袢、単衣着物、袷着物素縫い、まとめ、各工程で目標を設定し、達成を目指す。 【1月～3月】引き続き各工程で目標を設定し、達成を目指す。袷着物の仕立てが安定し てきたら、羽織の仕立て、訪問着、振袖等柄合わせのある難しいものの仕立てを学んでいく。						
成績評価方法	学期末までに日々の課題の状況、平素の授業態度等を合わせ、50点以上を合格とする						
備考							